

新居浜工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	倫理
科目基礎情報					
科目番号	101210		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	生物応用化学科		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	『高等学校 倫理』（第一学習社），『テオーリア 最新倫理資料集』（第一学習者）配布プリント				
担当教員	濱井 潤也				
到達目標					
1. 哲学・倫理の意義を，自然科学との差異において理解する。 2. ギリシャ哲学における人間精神の位置づけを理解する。 3. 世界各地の宗教・思想に親しみ，その歴史と意義を理解する。 4. 西洋近世の個人観とそれに基づく社会論の展開を理解する。 5. 社会主義やファシズム等の20世紀を席卷した政治思想とその問題点を理解する。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
到達目標1	哲学・倫理学と自然科学との差異を理解し，人間の生におけるその意義を論述できる。		哲学・倫理学における思考法と，科学的な思考法の特徴と差異を記述できる。		哲学・倫理の思考法の特徴と意義を理解できず，学ぶ必要のない科目だと考えている。
到達目標2	ギリシャ哲学を基に，現代でも断定できない諸問題について，自身の見解を論述できる。		善やイデア等，ギリシャ哲学の抽象的な世界観についてその特徴を記述できる。		ギリシャ哲学の世界観に対して，科学が未発達な時代の間違った考えだと捉えている。
到達目標3	各宗教の歴史・思想に触れ，現代におけるその役割について自身の見解を論述できる。		世界の宗教の特徴やキーワードをある程度覚えており，記述することができる。		宗教を単に誤った考え方として捉え，現代社会においては不要なものと考えている。
到達目標 4	個人主義，民主主義，資本主義の成立過程や，その現代における問題を考察できる。		個人，人民主権，自己利益追求等の近現代を形成する概念の成立について記述できる。		個人主義的，民主主義的，資本主義的価値観を当たり前に正しいものとして捉えている。
到達目標 5	社会主義，ファシズムの歴史を理解し，現代まで継続する問題として考察できる。		社会主義，ファシズムが誕生する土壌及びその目的について記述することができる。		社会主義やファシズムが何を目指したのかを理解せず，単なる支配構造と見ている。
学科の到達目標項目との関係					
問題解決能力・自己向上力 (D)					
教育方法等					
概要	ソクラテスは「単に生きるのではなく，善く生きること」が大切だと言いましたが，果たして「善い」とはどういう意味で，皆さんはこれからどのように生きるべきなのでしょう。この問いを考察するために，この授業では倫理思想史を紐解き，古代ギリシャから現代の国際社会に至るまでの人々が何を「善い」と考え，社会を形成してきたのかを学びます。				
授業の進め方・方法	基本的には講義形式で進めますが，グループディスカッションやプレゼンテーション等も積極的に取り入れる予定です。				
注意点	人間は古来より，様々なものに価値を見出し，そのために生きてきました。そして皆さんはこれから，何のために生きるのでしょうか。この問いの答えは人それぞれですが，しかしこの問いを避けて通ることはできません。この授業を通して「善い社会」，「善い人生」を共に探求しましょう。				
本科目の区分					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	導入：「倫理」とは何か？	1	
		2週	青年期の課題と自己形成Ⅰ	1	
		3週	青年期の課題と自己形成Ⅱ	1	
		4週	ギリシャの思想：哲学の形成	2	
		5週	ギリシャの思想：ソクラテスⅠ	2	
		6週	ギリシャの思想：ソクラテスⅡ	2	
		7週	中間試験	1, 2	
		8週	試験返却	1, 2	
	2ndQ	9週	ギリシャの思想：プラトン	2	
		10週	ギリシャの思想：アリストテレス	2	
		11週	宗教とは何か	3	
		12週	ユダヤ教	3	
		13週	キリスト教	3	
		14週	イスラム教	3	
		15週	期末試験	2, 3	
		16週	試験返却	2, 3	
後期	3rdQ	1週	神道と仏教	3	
		2週	私とは何か	4	
		3週	デカルトの思想：我思う故に我有り	4	
		4週	演繹法と帰納法	4	
		5週	イギリス経験論：見えないものは存在しない	4	
		6週	大陸合理論：理性は全てを解き明かす	4	
		7週	カント認識論：世界は私が創っている	4	

	4thQ	8週	中間試験	1, 4
		9週	試験返却	1, 4
		10週	なぜ人を殺してはならないのか：功利主義と厳格主義Ⅰ	5
		11週	誰を殺してはならないのか：功利主義と厳格主義Ⅱ	5
		12週	自由とは何か：民主主義の成立	5
		13週	平等な理想郷を目指して：共産主義と社会主義	5
		14週	待望の強いリーダー：ファシズムの時代	5
		15週	期末試験	5
		16週	試験返却	5

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的 分野	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3	
				帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3	
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	3	
			公民的分野	人間の生涯における青年期の意義と自己形成の課題を理解し、これまでの哲学者や先人の考え方を手掛かりにして、自己の生き方および他者と共に生きていくことの重要性について考察できる。	3	
				自己が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。	3	
			現代社会の 考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。	3	

評価割合

	試験	レポート	合計
総合評価割合	70	30	100
基礎的能力	70	30	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0